

新年の



美郷町長
松田 知己

新

年おめでとうございます。みなさまには昨年を振り返りながら、新たな期待や希望、願いを込めて、新年をお迎えのことと思います。

さて、昨年を振り返りますと、美郷町もいろいろな事柄があった年でした。特に印象深いのは、東京2020オリンピックピックに関連するタイ王国との交流です。ご承知のとおり、美郷町は来年の東京2020オリンピックピックで、タイ王国バドミントンチームの事前合宿地となります。そのため町では、合宿の円滑な実施とともに、東京2020オリンピックピックを心から楽しめるよう、タイ王国との交流に広く取り組んできました。

まずは、東京で開催されたバドミントンの国際大会に出場したタイ王国の選手が、一昨年に引き続きワクアスで合宿しました（そのうちの一人はなんと男子シングルスで準優勝です）。また、タイ文化の理解に向けて、タイ料理に親しむタイ食

文化講座も開催しました。さらに、タイ王国との交流を支援するファンクラブ「プーアン」（タイ語で友達の意）を設立したほか、国際教育の一環として、美郷中学校とバンコク隣接ノンタブリー県アニユラチャプラシット校の生徒相互訪問も実現しました。また、美郷中学校の修学旅行では、在東京タイ王国大使館への訪問も実現し、まさに広く交流が展開できた1年でした。

今年も昨年の取り組みを踏まえて各般にわたる取り組みを進めてまいりたいと思います。まずは今年2月です。秋田空港からタイ王国にチャーター便が運航されます。地元空港発という得難い機会ですので、人数の制約はあるものの、タイ王国への理解促進の機会に活用してまいります。その際には、交流を開始したアニユラチャプラシット校を訪問するよう準備も進めております。また、町内の各種イベントでも、できる限りタイ王国関連ブースを準備するなど、タイ王国に触れる機会

の増加を意識してまいりたいと思います。

いずれ、こうした取り組みを重ね、来る東京2020オリンピックピック・パラリンピックが、単に画面を通じて見るお祭りという認識ではなく、自分と何らかの関係性のある、心から楽しめる貴重な機会として認識されることを願っております。また、こうした気持ちや記憶にしっかりと刻まれることで、美郷町民として何らかの誇りに繋がることも期待しております。まさに心のレガシー（遺産）づくりです。こうした良き記憶は、きつと味わい深い人生の形成にも大切です。

今年天皇陛下のご退位で元号が変わる年です。まさに大きな節目の年となります。今年も美郷町の各般の取り組みが順調に推移するようがんばるとともに、みなさまにとって良き1年となります。ことを心よりお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。



ぐあいざい



美郷町議会議長

澁谷 俊二

あ

けましておめでとうございます。町民の皆さま方には、良い年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年中は、町行政はもとより町議会に対してもご理解ご協力をいただき心から敬意と感謝を申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、一昨年11月中旬の初雪が根雪となり近年にない大豪雪の年となりました。5月には県内全域で記録的な大雨に見舞われ、大仙市でもかなりの被害を受けたことは記憶に残っていることと思います。また大阪や北海道での地震、西日本豪雨など全国各地でも自然災害が多発した年でした。日に日に進む地球温暖化に対し歯止めをかけるためにも、世界中の国々はこの問題に真剣に取り組むべきだと思います。

さて2月、日本中を歓喜の渦に巻き込んだ平昌冬季オリンピック。フィギュアスケート男子、羽生選手との2連覇、女子スピードスケートの金メダ

ルラッシュ、そしてメダルの色こそ違いましたがカーリング女子のあの活躍、心から感動を覚えしました。「そだねー」この言葉が、昨年の新語・流行語大賞に選ばれましたが、まさに「そだねー」と称賛です。2022年冬季オリンピックでは一番高い表彰台で「そだねー」を聞きたいと願っています。頑張れカーリング女子！

また、夏の高校野球甲子園大会では、金足農業高校が準優勝に輝き、県勢としては103年ぶりの快挙を成し遂げ県民に大きな喜びと感動を与えてくれました。目標と夢の実現に向け日々努力することが大切です。県内高校球児の活躍を期待します。

今年はずっと平成最後の年でもあり、あわただしい年になることと思います。さらに消費税も10%となります。果たしてそれまでに諸問題を解決することができのるか心配です。

さて、昨年は半世紀近く続いた減反政策が廃止

となり、心配されましたが、各関係機関の指導のもと大きな混乱もなく終えることができました。しかしながら交付金などに頼る部分も多く、足、腰の強い農業にはまだまだのようです。

町では、3年計画で整備を進めてきた緊急告知FMラジオの全世帯配布が11月末までに完了しました。また、元東京大学総長の佐々木毅氏からの寄付金をもとに「佐々木毅『鴻鵠の志』育成基金」を設置し、町の教育振興に充てる予定です。

さらには、公共施設等最適化実施計画における個別施設の最適化計画を検討中です。議会も、町当局と一丸となり、諸問題に取り組み頑張ってください。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

今年も町民の皆さま方がご健勝で幸福（しあわせ）な年でありますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。